

せかいいち うつくしい ぼくの村 ★

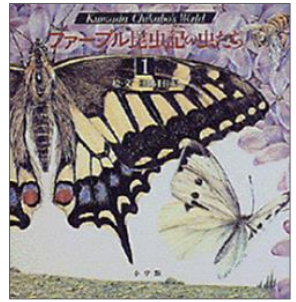
小林豊 作/絵 ポプラ社 1200 円



自然が美しく、おだやかなアフガニスタンのある村にすむ少年ヤモ。ある日、村でできたものを売りに町へ行きました。そんなおだやかな生活の中にもいまわしい戦争のかけがえが…。

フェアブル昆虫記の虫たち ★

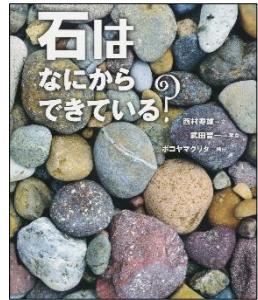
熊田千佳慕 絵/文 小学館 1900 円



「フェアブル昆虫記」に登場する虫たち1匹1匹にもいろんな物語があります。そんな物語に、虫たちのおどろくほどカラフルで美しいイラストをそえてお届けします。

石はなにからできている？

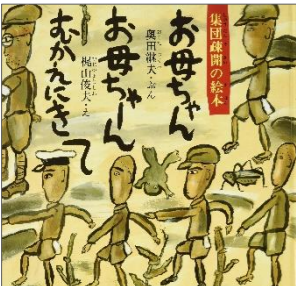
西村寿雄 文、武田晋一 写真 岩崎書店 1600 円



月には灰色の石しかありません。では、地球はどうでしょう？地球の石を観察し、何から出来ているのかを説明した写真絵本です。

お母ちゃんお母ちゃーんむかえにきて

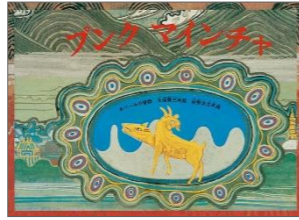
奥田継夫 文、梶山俊夫 絵 小峰書店 1300 円



親もとを遠くはなれて、先生と子どもの集団生活がはじまった。けんかとシラミと空ふくと、さみしさの日はいったいつまで続くのだろうか。昭和19年、日本が戦争をしていたころのお話です。

プンク マインチャ

大塚勇三 再話、秋野亥左牟 画 福音館書店 900 円



ままははにいじめられているプンクという女の子が、ふしぎな力を持つヤギのおかげで幸せになるというネパールの民話。

魔女がいっぱい

ロアルド・ダール 作、ケンティン・ブレイク 絵 清水達也、鶴見敏 訳 評論社 1300 円



ほんものの魔女はどこにでもいる。姿かたちはふつうの女の人。でもその実体は…。魔女軍団を相手にぼくとおばあちゃんが大活やく。ワクワクドキドキ、奇想天外な物語。

十二支のお節料理

川端誠 作 BL 出版 1400 円



お正月をむかえるための準備を十二支の動物が順番にしています。日本の古くからのならわしが、楽しい絵で語られています。

京都市図書館では、子どもの読書活動の推進について、関係団体の皆様と『子どもの読書活動推進のための懇談会』を設け、協議しています。平成13年12月、「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定されたことを記念して、平成14年4月に子どものためのブックリスト「本のもり」を作成しました。このリストには、図書館や書店・子ども文庫で出会ってほしい本を、各年代別に30冊選びました。このブックリストが、子どもが本を読むきっかけになれば幸いです。 令和5年3月

子どもの読書活動推進のための懇談会
・京都市小学校図書館研究会 ・京都市立中学校教育研究会図書館教育部会
・京都市PTA連絡協議会 ・京都市子ども文庫連絡会 ・京都府書店商業組合
・京都市私立幼稚園協会 ・京都市保育園連盟 ・こどもみらい館子育て図書館
・京都市教育委員会 ・(公財)京都市生涯学習振興財団

問い合わせ先：(公財)京都市生涯学習振興財団 総務課企画係(京都市図書館担当)
電話 075-802-3145

※ 表示価格は税抜き本体価格です。

ブックリスト 本のもり

小学校中学年編

ふしぎなことも本のなかでは起こる。知りたいことがもっと知りたくなる。本を読むって楽しいね。

（全6種は7ページ）
カラーのリスト

★シリーズあり

よあけ

ユリー・シュルヴィッツ 作/画、瀬田貞二 訳 福音館書店 1200 円



山にかこまれた湖のほとり。野じゅくするおじいさんとまごの姿があるばかり。ページをめくるたび、しだいに夜が明けてゆく。そこにあるもののささやきが、静けさの中から伝わってくる美しい絵本。

車のいろは空のいろ 白いぼうし ★

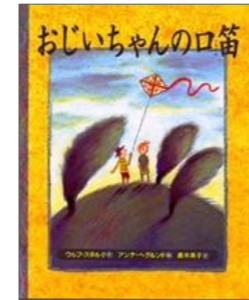
あまんきみこ 作、北田卓史 絵 ポプラ社 1000 円



山ねこ先生やくまの紳士。ふしぎなお客を乗せて松井さんの空色タクシーはいったどこまで行くのかな？

おじいちゃんの口笛

ウルフ・スタルク 作、アンナ・ヘグルンド 絵、菱木晃子 訳 ほるぷ出版 1500 円



おじいちゃんのいないベツラはある日、老人ホームですてきなおじいちゃんを見つけます。とても短いお話ですが、少年と老人の温かいふれあいが、いつまでも心にこります。

ねむりひめ

フェリクス・ホフマン 絵、せたていじ 訳 福音館書店 1300 円



多くの人が知っている、グリムの昔ばなしを、ホフマンの美しい絵で語りかけます。

クマのプーさん

A.A.ミルン 作、石井桃子 訳 岩波書店 720 円



クリストファー・ロビンのかまのぬいぐるみプーが、ロビンやなかまたちとくり広げるゆかいなお話。

お江戸の百太郎 ★

那須正幹 作、長野ヒデ子 画 岩崎書店 1400 円



岡っ引き千次のせがれ百太郎は、父親よりも頭の回てんがよく、とり物の手伝いをしています。百太郎は、江戸の下町を舞台に犯人探しで大かつやくです。

ひろしまのピカ

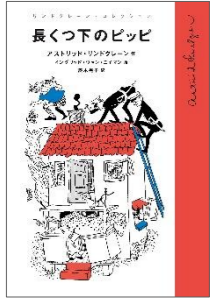
丸木俊 文/絵 小峰書店 1500 円



リトル・ボーイという名の原子ばくだんが7さいのみいちゃんから幸福をうばいさりました。「ピカはひとがおとさにか、おちてこん」という言葉とともに、わすれてはならない絵本です。

長くつ下のピッピー ★

アストリッド・リンドグリーン 作、菱木晃子 訳
イングリッド・ヴァン・ニイマン 絵 岩波書店 1650 円



大金持ちで力持ち、左右に色のちがう長くつ下と大きなくつをはいた9さいの女の子ピッピー。だれのまねもせず、自然でのびのびしたピッピーの生き方が、私たちを魅了します。

地球の用事

まどみちお 著、阪田寛夫 選 JULA 出版局 1200 円



童謡「ぞうさん」の作者として知られる、まどみちおさんの童謡集です。小さなアリから宇宙のはてまで、すべてをあたたくつつむまどさんの世界に心を遊ばせてみませんか。

日本の神話

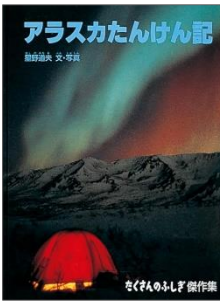
松谷みよ子 文、司修 絵 のら書店 1500 円



私たちのだれも知らない、はるか昔の日本。空のはてに、海の底に、地上に、また地の底にもたくさんの神々が住んでいた…そんな、むかしむかしのお話です。

アラスカたんけん記

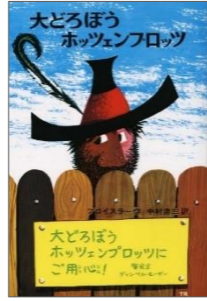
星野道夫 文／写真 福音館書店 1300 円



美しい写真と、具体的な文章から、アラスカの自然の厳しさが、ひしひしと伝わってきます。そんな厳しさのなか、過こくな旅を続ける著者の情熱には、感動をよびおこす力があります。

大どろぼう ホツェンプロッツ ★

プロイスラー 作、トリップ 絵、中村浩三 訳
偕成社 1000 円



おばあさんの大切なコーヒーひきが、大どろぼうのホツェンプロッツに盗まれてしまった。彼をつかまえようと二人の少年の大活やくがはじまった。

ルドルフとイッパイアッテナ ★

斉藤洋 作、杉浦範茂 絵 講談社 1300 円



トラネコのイッパイアッテナと出会ったルドルフが、野良ネコとしてたくましく生き、成長していきます。“あとがき”で作者が、この物語を書いたのは自分ではなく、実はルドルフ自身であったことを告白しています。

黒ネコジェニーのおはなし ★

エスター・アペリル 作／絵、松岡享子、張替恵子 訳
福音館書店 1300 円



ジェニーは黒ネコの女の子。はにかみやだけど、がんばりやさん。キャットクラブに入って、ネコの学校へ行って、夜のパーティーでおどって、友だちがたくさんできます。そんなにぎやかなジェニーの毎日を楽しみながら、子どもたちは一緒に成長してゆけるでしょう。

しずく的首飾り

ジョーン・エイキン 作、猪熊葉子 訳
岩波書店 640 円



生まれたばかりの赤ちゃんが、北風からもらった雨のしずく的首飾り。この首飾りをつけておくと、決して雨にぬれることはないのです。「しずく的首飾り」の他にも、ふしぎな8つのおはなしがつまっています。

チム・ラビットのぼうけん ★

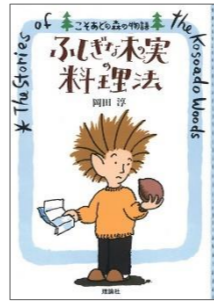
アリソン・アトリー 作、石井桃子 訳、中川宗弥 画
童心社 1500 円



好奇心いっぱいの子うさぎチムは、毎日新しい発見をしたり、そして、ときには失敗もしたり…。心あたまるお話のつまった一冊です。

ふしぎな木の実の料理法 ★

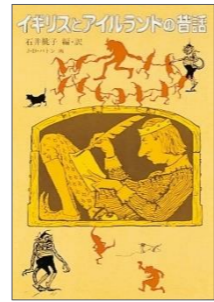
岡田淳 作 理論社 1700 円



ある日届いたふしぎな木の实。食べ物らしいが、料理方法がわからない。うんざりしつつも、誰か料理方法を知らないかと、“こそあどの森”の人たちをたずね歩くスキッパーだが…。

イギリスとアイルランドの昔話

石井桃子 編／訳、J・D・バトン 画 福音館書店 1600 円



以前、あかね書房から出版された「イギリス童話集」にケルト族の昔話をくわえ、訳も手直しされて復刊された。子どもたちにも語りやすい昔話集となっている。

レンゲ畑のまんなかで

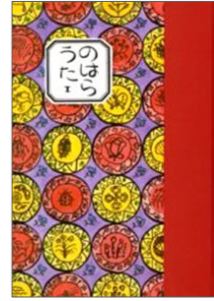
富安陽子 著、降矢奈々 絵 あかね書房 1200 円



3年生の悦子は、ある日レンゲ畑のまんなかで、魔女につかまっているという不思議な女の子に出会って、毎日が変わります。妖精の輪にねがいをかけたり、ひみつの空き家を探検したり…。小さい女の子の目で見た、ちょっと懐かしいまちかどの冒険と魔法のお話。

のはらうた ★

くどうなおこ 詩 童話屋 1500 円



こぶたはなこさん、こうしたろうくん、かぜみつるくんなど、のはらのみんなの「し(詩)」です。ことばのリズムが心地よく、ほのぼのとした気持ちになれる一冊です。

おいしい“つぶつぶ”穀物の知恵

こくもつ
ゲッチョ先生の穀物コレクション
盛口満 文／絵 少年写真新聞社 1800 円



おいしい“つぶつぶ”って何？それは、毎日食べているご飯やパンなどのもとになる穀物のこと。いろんな種類の“つぶつぶ”には体を元気にする秘密がある。身近な穀物の世界をのぞいてみよう。

がんばれヘンリーくん ★

ベバライ・クリアリー 作、ルイス・ダーリング 絵
松岡享子 訳 学研 1200 円



ある日、ヘンリー君はガリガリにやせて汚れた犬に出会います。その犬を飼いたくなったヘンリー君は、バスに乗って家まで犬を連れて帰るため、あれこれためてみますが…。

百まいのドレス

エレナー・エステイス 作、ルイス・スロボドキン 絵
石井桃子 訳 岩波書店 1600 円



いつもくしゃくしゃの同じ服を着る少女ワンダ。「あたし、うちに、ドレス百まい、持っているの」からかわれてもワンダはそういいましたが、ある日突然学校に来なくなります。そして、からかいを止められなかった女の子達は、驚くほど美しいドレスの絵をワンダが描いていたと知るので。